

平成25年 9月27日

お 知 ら せ

件 名	北海道における平成24年度末の下水道整備状況について
-----	----------------------------

お知らせ内容

北海道における平成24年度末の下水道整備状況が取りまとまりましたので、お知らせします。

北海道の下水道整備状況の概要は、以下のとおりです。

	平成24年度	平成23年度	対前年度比
下水道処理人口普及率	89.9%	89.7%	0.2ポイント増
汚水処理人口普及率	94.2%	93.9%	0.3ポイント増

参考) 平成24年度末 全国下水道処理人口普及率 76.3%

平成24年度末 全国汚水処理人口普及率 88.1%

なお、平成24年度末の全国値は、東日本大震災の影響で福島県において、調査不能な市町村があるため、公表対象外としています。

下水道整備状況については、毎年度全国的に取りまとめを実施しており、全国状況については以下のHPにて公表しています。

- 平成24年度末の下水道整備状況について
(9月27日、国土交通省水管理・国土保全局下水道部から報道発表)
http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000215.html
- 平成24年度末の汚水処理人口普及状況について
(9月27日、国土交通省、農林水産省及び環境省の三省から報道発表)
http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000216.html

問	所 属	役 職 名	氏 名	電 話 番 号
い	北海道開発局			011-709-2311
	事業振興部 都市住宅課	課長補佐	藤井 和貴	内線 5882
先	北海道開発局			011-709-2311
	事業振興部 都市住宅課	下水道係長	渡邊 一靖	内線 5869

(別紙)

北海道における平成24年度末の下水道整備状況について

【下水道処理人口普及率】

- ・平成24年度末の北海道の下水道処理人口普及率は、全国都道府県別第6位^(※1)の89.9%（全国76.3%^(※1)）となっており、平成23年度末からの1年間で0.2ポイント上昇しています。
- ・振興局別にみると、石狩が最も高く、空知および留萌、根室、日高、檜山を除く9の振興局で全国平均を上回っています。

北海道の下水道処理人口普及率

	下水道処理人口普及率	
	H23年度末	H24年度末
全国 ^(※2)	75.8%	76.3%
全道	89.7%	89.9%
市部	96.1%	96.2%
町村部	62.6%	63.2%
上記町村部の内 1万人未満の町村	53.4%	54.3%

(※1) 東日本大震災の影響で調査不能な市町村のある福島県の1県を除いた46都道府県で集計。

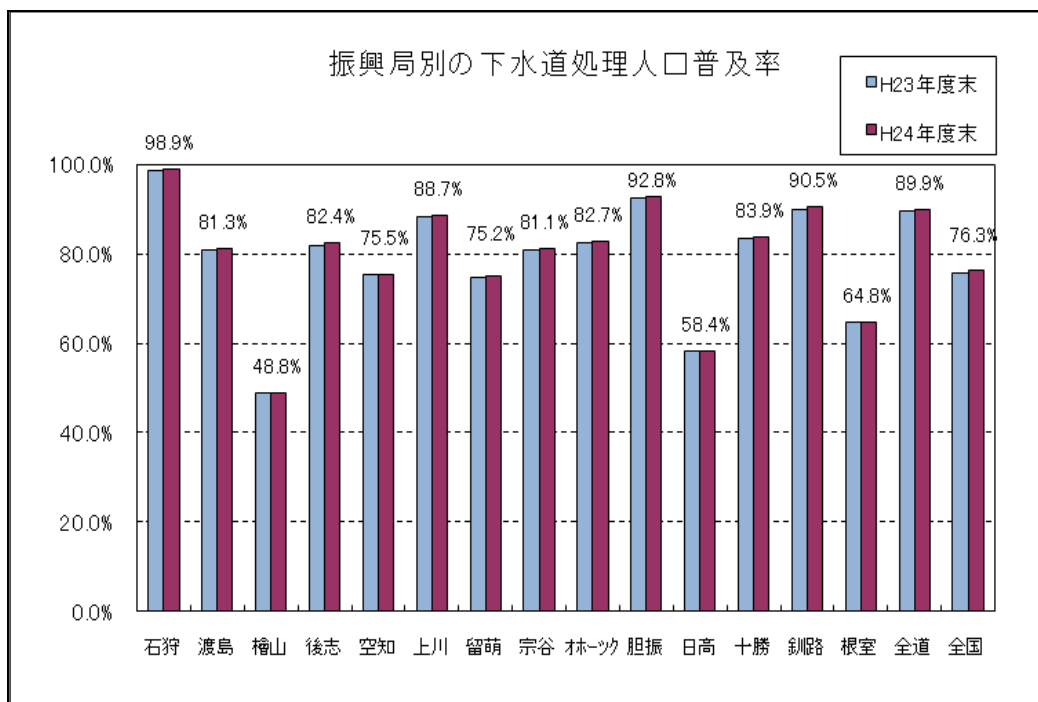
(※2) 平成23年度末は、岩手県、福島県の2県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため公表対象外としている。平成24年度末は、福島県の1県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため公表対象外としている。

【整備指標の定義】

①下水道処理人口普及率

$$\text{下水道処理人口普及率 (\%)} = \frac{\text{処理区域内人口}}{\text{総人口}} \times 100$$

- ・総務省発表の住民基本台帳人口を使用



振興局別の下水道処理人口普及率

振興局名	下水道処理人口普及率	
	H23年度末	H24年度末
石狩	98.8%	98.9%
渡島	80.8%	81.3%
檜山	48.8%	48.8%
後志	82.0%	82.4%
空知	75.4%	75.5%
上川	88.5%	88.7%
留萌	74.6%	75.2%
宗谷	81.0%	81.1%
オホーツク	82.6%	82.7%
胆振	92.7%	92.8%
日高	58.2%	58.4%
十勝	83.5%	83.9%
釧路	90.1%	90.5%
根室	64.7%	64.8%
全道	89.7%	89.9%
全国	75.8%	76.3%

【汚水処理人口普及率】

国土交通省、農林水産省及び環境省（以下「三省」という）では、平成24年度末の汚水処理人口普及状況を取りまとめました。

汚水処理人口普及状況の指標は、下水道、農業集落排水施設等、浄化槽、コミュニティ・プラントの各汚水処理の普及状況を、人口を用いて統一的に表したものであり、平成8年度末から公表しています。

<北海道内>

- ・ 汚水処理施設の整備は、整備区域、整備方法、整備スケジュール等を設定した「全道みな下水道構想Ⅲ」に基づき各地方公共団体が効率的、効果的に事業を実施しています。
- ・ 平成24年度末の北海道の汚水処理人口普及率は、全国都道府県別順位で第9位^(※3)の94.2%となっており、平成23年度末からの1年間で0.3ポイント上昇しています。
- ・ 普及人口を各処理施設別にみると、下水道によるものが約492万人、農業集落排水施設等によるものが約7.6万人、浄化槽によるものが約15.5万人でした。

(※3) 東日本大震災の影響で調査不能な市町村のある福島県の1県を除いた46都道府県で集計。

H23 年度末汚水処理人口普及率

		汚水処理 人口普及 率	総人口 (千人)	汚水処理 人口計 (千人)	下水道 (千人)	農業集落 排水施設 等 (千人)	浄化槽 (千人)	コミュニ ティ・プ ラント (千人)
北海道	H24 年度末 (H23 年度末)	94.2% (93.9%)	5,465 (5,474)	5,146 (5,141)	4,915 (4,909)	76 (80)	155 (152)	— (—)
全国 (※4)	H24 年度末 (H23 年度末)	88.1% (87.6%)	126,396 (123,350)	111,378 (108,104)	96,446 (93,548)	3,601 (3,501)	11,065 (10,793)	266 (263)

(※4) 平成23年度末は、岩手県、福島県の2県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため公表対象外としている。平成24年度末は、福島県の1県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため公表対象外としている。